

2022年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア)

国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割に関する理解の深化を目指して、カンボジア国において2023年2月24日(現地着)から2月28日(現地発)に至る5日間、「2022年度緑の国際ボランティア研修(カンボジア)」が、公益社団法人 国土緑化推進機構主催、特定非営利活動法人環境修復保全機構共催により開催されました。公募で募集・選考された10人の日本人研修員が研修に参加し、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林体験の他、現地大学生(バディ)とグループを組んで農山村調査を行いました。具体的には、①参加型開発における課題の洗い出しと住民参加度の向上に向けた提案、②森林資源利用の実態調査とアグロフォレストリーの提案、③非木材林産物の利用実態調査と地域振興に向けた提案、の各々のテーマ別に地域住民を対象に聞き取り調査やディスカッションを行い、その成果を最終報告会で発表しました。

本研修を通して、研修員はカンボジア国における森林伐採の現状やその背景を理解し、人と森林との共生の在り方や持続可能な開発について考察を深めました。

	日時	主な活動	宿泊地
1	2/23 (木)	・羽田空港第3ターミナルより出発 (SQ635便 22:55発)	機内泊
2	2/24 (金)	・カンボジア国プノンベン国際空港に 現地集合(SQ154便 08:35着) ・環境修復保全機構(ERECON)カン ボジア支局訪問、非木材林産物 (ココナツ練炭)製造・販売企業 訪問、カンボジア王立農業大学の 学生とオリエンテーション、キリン グ・フィールド訪問	プノン ベン
3	2/25 (土)	・コンボンチャムへ移動 ・「緑の募金」植林に協働する住民の 村(Wat Chas村)への訪問 ・苗床(苗木の保育圃場)、バンブ ーブリッジの見学	コンボン チャム
4	2/26 (日)	・「緑の募金」で取り組むカンボジア 国コンボンチャム州における地域 住民と協働での植林活動 ・研修成果発表会に向けた農村調査	コンボン チャム
5	2/27 (月)	・調査結果の整理、発表準備 ・Wat Chas村における農村調査結果 の発表と村人との意見交換 ・プノンベンへ移動	プノンベ ン
6	2/28 (火)	・カンボジア王立農業大学での研修 成果発表会、修了式、ローカルマ ーケット視察 ・東京へ空路移動(SQ157便 18:35 発)現地解散	機内泊
7	3/1 (水)	・成田国際空港着 (SQ638便 07:30着)	

* 旅行業法により現地集合・現地解散ですが、随行スタッフが研修参加者の渡航便に同行しました。



プノンベン国際空港に到着(2023年2月24日)



キリング・フィールド訪問(2023年2月24日)



Wat Chas村への訪問(2023年2月25日)



バンブーブリッジ訪問(2023年2月25日)



地域住民と協働での補植(2023年2月26日)



調査結果の村人への発表と意見交換(2023年2月27日)



地域住民と協働での活着率調査(2023年2月26日)



研修成果発表会(2023年2月28日)



植林地管理活動後の集合写真(2023年2月26日)



修了式後の集合写真(2023年2月28日)



研修員による農村調査(2023年2月26日)

参加した研修員からは次のような声が寄せられました。「緑の募金で植林に取り組む NGO の活動をしっかりと理解することができた」、「私の今後の将来設計を大きく左右する有意義な時間になり、参加できてとても良かった」、「現地における森林保全に関する課題や現状を知ることができたため、日本でさらに学びを深め、解決に向けて実際に行動を起こしていきたい」、「私は海外で働く事、地球温暖化の解決に興味があり、今回研修に参加できたことでよりさらにその気持ちが強くなった」等。